

令和7年度 排尿ケアチーム PDCAサイクル



排尿ケアチーム (Continenence Support Team : CST)

- ・患者さん一人ひとりに合った「排尿自立」を支援します。
- ・尿道留置カテーテルの早期抜去や多職種による包括的ケアを通し、尿路感染予防やQOL(クオリティ・オブ・ライフ)向上を目指します。

Plan



- ・泌尿器科医、理学療法士、排尿ケア専任看護師による週1回のチームラウンドとカンファレンスを実施しました。
- ・病棟看護師と排尿ケア計画を立案しました。
- ・病棟で実践されたケアの評価を行いました。
- ・退院後の排尿自立支援を継続するため、泌尿器科外来でのフォローや退院先の医療介護関係者などと連携を図りました。

Do

【改善に向けた取り組み】

- ・リンクナースやCSTラウンド担当者は、14日以上長期留置患者の把握と留置理由を確認し、チーム介入が必要な患者を積極的にCST介入に繋ぐ必要があります。
- ・退院後も排尿自立支援を必要とする患者は増加しており、地域との連携を強化します。
- ・院内研修の開催や排尿ケアチームマニュアルの見直しを行い、院内での周知を図ります。

Action

Check

- ・CSTへの新規介入患者数は99人で、延べ165人のラウンド患者に対し病棟看護師と排尿ケア計画を立案し、実践されたケアの評価を行いました。
- ・尿道カテーテル留置率は16.5%で、目標値の15%以下を達成することはできませんでした。
- ・入院中に排尿自立の方法が確立しなかった患者に対しては、退院(転院)先の医療介護関係者に情報提供と支援継続を依頼しました。
- ・12月に泌尿器科医と排尿ケア専任看護師が講師となり院内研修を開催しました。

